

FFGの建築士から、あなたの住まいに「スマイル」な提案をお届けします。



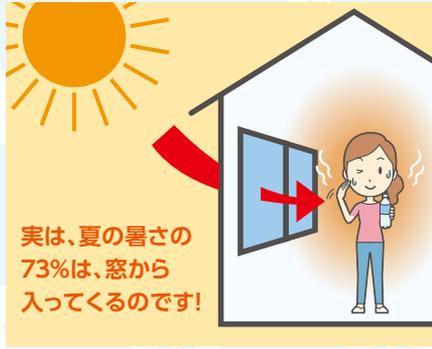
住まいるな話

VOL.14

# 「窓」からはじめる涼しい夏

住まいで過ごす時間にも、  
私たちは「窓」に差し込む日差しや景色に季節を感じています。  
そんな場所だからこそ気をつけたいポイントをご紹介します。

そこで見直したいのが、「カーテン」や「ブラインド」の選び方。何気なく好みのデザインや色のもの、身近にあるものを選びがちですが、実は室内の空気をコントロールし、快適に過ごすための機能性を備えるインテリアです。シーンや目的ごとに適した種類や素材を知ることで、季節と上手に付き合ひ、心地よく過ごせる住まいづくりの一步を踏み出してみましょ。



季節と上手に付きあうヒントは、窓まわりにありました。  
四季は日本の魅力である一方、年々夏の暑さが厳しくなり、その対策に悩まされている私たち。涼しく過ごすための重要なポイントが外と中を繋ぐ「窓まわり」であることをご存知でしょうか。

## 快適でエコな窓辺の作り方！



### 色・素材で涼しく

部屋の印象を決める「色」。赤みの暖色と青みの寒色では、体感温度が約3℃も違うといわれています。海や水をイメージさせるブルーやホワイト、麻や透け感のある素材を取り入れて、涼しげでおしゃれな空間を演出してみましょ。

▲レースを手前に取り付けてメインにする「フロントレース」は軽やかな印象に。

レースのカーテンは、半年に1度は洗濯を。洗濯すると、驚くほど白くきれいなになります。時々窓拭きをするだけでも、カーテンの汚れは軽減。



### ブラインドですっきりと

場所をとらず、部屋がすっきり見えるのが特長のブラインド。窓の形の多様化とともに、あらゆる素材・形に対応できるブラインドの需要が高まり、家庭にも広く取り入れられています。



レース部分との切り替えを上げ下げできるもの。



木製以外にも、湿気に強いものや、ゴミが溜まらない性質のものなど、素材も豊富。

### 「遮熱」と「遮光」

外からの熱を窓まわりで防ぐには、カーテン・ブラインドを使って、窓ガラスと部屋の間に「空気の層」を作ることが大切です。日中もカーテン・ブラインドは閉めた方が冷房効果はアップ。外出時もしきんと閉めることで、クーラーで冷やした室温を保つことができます。また、熱は避けたいけど、光は取り込みたいという場合は、特殊な糸が日差しを反射する「遮熱効果のあるレースカーテン」がおススメ。光を遮断し、生活リズムをコントロールしたい方に人気の「遮光」は、外の視線からプライバシーを守る面でも注目されています。

### かんたん気分転換「タッセル」

気軽に窓辺をアレンジできるのが、カーテンのタッセル。「ビーズやラメ糸を使ったもので涼しげに」、「明るいカーテン生地にあえてダークな色味を合わせてゴージャスに」など、自分だけのコーディネートにチャレンジできます。



ブラインド（ロールスクリーン）も「遮熱」「遮光」に対応。窓枠まで囲むと、光を取り込みません。



▲「遮光カーテン」中に黒い糸が織り込まれていても、表面は明るく、厚みもありません。

「遮熱レース」▶ 光は取り入れながら、熱は大幅カット、明るく涼しい夏を実現します。



取材協力：リリカラ株式会社  
株式会社ニチベイ



### お気軽にご相談ください！

福岡銀行本店中2階「住まいるギャラリー」では、建築士やインテリアコーディネーターの資格を持つ専門のスタッフが、住宅に関するアドバイスを行っています。ご相談は無料です。

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階 TEL 092-723-2290

営業時間／平日：9:00～17:00 土曜：10:00～17:00（日曜・祝日および12月31日～1月3日は休業）